

市民のひろば

☎ 857-8585 (住所不要) 市役所秘書課広報係 (☎ 1111)
Eメール hishok@city.sasebo.nagasaki.jp



広報紙に対してお寄せいただいたご意見をご紹介します。

写真も多く載っており、紙の厚さや字の大きさなど、ちょうどよく、読みやすいのですが、「子育て」「障害福祉」「高齢者と介護」などの文字がすべて同じ色で書いてあるので、見落とすときがあります。それぞれの文字を色分けして、毎月同じ色の文字にしてもらえば、すぐに探せると思います。

(広報係から)

ご意見ありがとうございます。
今月の広報させばで使っている色は、黒と緑の2色です(一部のカラーページを除く)。ご提案のとおり情報のページを色分けすると、必要な情報が取り出しやすくなると思います。しかし、カラーページを大幅に増やす必要があるため、限られた予算内での実施は難しい状況です。

ところで、広報させばは5月号から紙面を一新し、若い世代にも親しまれるようなデザインを取り入れます。これまで皆さんにお寄せいただいたご意見も参考にしていますので、どうぞご期待ください。



はがきに答えと住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙へのご意見を書いて、4月23日必着でお送りください。

問題 本市はことし4月1日で、 歳。
問題 5月～6月上旬の7、8、9のつく日に早岐瀬戸周辺で立つ市は「早岐市」。
問題 佐世保市長と佐世保市議会議員の一般選挙の投票日は4月日。

全問正解者の中から抽選で、毎月5人に図書券をプレゼント。紙面の都合上、発表は発送をもって代えさせていただきます。
前回の答えは 三川内 世知原 抄でした。ご応募ありがとうございました。



あなたの「思い出の一枚」が自宅に眠っていませんか
ふるさと佐世保の様子がお写真と、それにまつわるお話を、広報係「思い出の一枚」担当あてにお送りください。
お借りしたお写真は、郵送でお返しします。

「おたより」をお寄せください
子育てに関する悩み、わが家の自慢料理など、皆さんからのおたよりをお待ちしています。
広報係「おたより」コーナー担当あてにお送りください。

ご意見有用

市政に対する建設的なご意見を、書面でお願いします。郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を書き、「ご意見有用」担当あてと明記してください。
採用分には図書券を差し上げます。

Q 「総合的な学習の時間」を利用して金銭教育の実施を

野中町 澄川倫子さん(37歳)

多重債務や自己破産などの防止のために、学校教育の「総合的な学習の時間」を利用して、児童・生徒、PTA、教師を対象に金銭教育を行ってはいかがでしょうか。

金銭管理は、自己責任が問われる時代となった今日、「知らない」では済まされない問題であり、生きる力の一つだと思います。

A (学校教育課からのお答え)

金銭教育を学校教育で取り上げることは、健全な金銭感覚を理解させ、身に付けさせるために大切なことです。

現在、小、中学校では、家庭科で物や金銭の使い方が自分の生活にどのようなかわりがあるかを考えさせたり、社会科で身近な経済である消費を取り上げたりしています。また、道徳の時間にも社会の決まりを守り、節約に心掛けるよう指導することで、正しい金銭感覚が身に付くようにしています。

「総合的な学習の時間」は、各学校が地域や学校、児童・生徒の実態に応じて創意工夫し、さまざまな形で実践されています。

金銭教育を「総合的な学習の時間」で取り上げるかどうかは、各学校の判断によりますが、今後そのような試みが増えることは、十分考えられます。また、保護者や教師を対象とするものは、保護者懇談会やPTA活動で取り組む方法があります。

貴重なご意見をありがとうございました。

歴史散歩 疫神社 (庵浦町) 453

SSK 本船廃油処理場に近い庵浦町の椎ノ木地区は、俵ヶ浦半島の急斜面に16戸が肩を寄せ合うように暮らす集落で、佐世保港の眺めが眼下に広がるひなびた土地柄です。

海岸に近いところに、榎の生け垣に囲まれた疫神社の石祠があり、毎年4月第2日曜日、集落の皆さんが石祠のそばに集まり、お供えの食べ物を持ち寄って家内安全、無病息災を念じ、そのあとお供え物を分け合っていたながら、ひとときを過ごします。

疫神社とはあまり聞きなれない神様ですが、京都市東山区祇園町の八坂神社境内にある撰社



の一つだといえご存じの方もいるでしょう。疫神の名が示すとおり、夏に流行していた疫病封じの神様です。昔の人は、怨みを抱いて死んだ人が、悪霊、つまり疫病神となつてたたと信じていました。

神話の神であるスサノオノミコトから、疫病除けの茅の輪を授かった蘇民将来を主神とするのが疫神社で、佐世保市内で催されている7月31日の茅の輪くぐりの夏越し祭りが本来の疫除け神事なのです。

椎ノ木地区は、安永(1773)年建立の地蔵さんがあるように、江戸時代後期から山口、森山、松本といった

姓の人が住み続けてきたところで、元平戸藩士であったと思われる。(筒井隆義)

